

# 青少年赤十字(JRC)100周年記念事業 ルワンダ子ども支援基金 11月8日～11日

本校は長年、青少年赤十字(JRC)に加盟しており、継続してその活動に関わってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ここ数年、JRC活動に取り組めていませんでした。そうしたなか、JRCは1922年に滋賀県の小学校で日本最初の少年赤十字が誕生して、今年でちょうど100周年を迎えました。それを記念して全国各地で様々な活動が行われており、その一つが「青少年赤十字(JRC)100周年記念ルワンダ子ども支援基金」です。そこで本校では、この機にあらためてJRC活動に取り組んでいくことにしました。

その手始めとして、7月19日、失われていた本校の「JRC旗」を作成していただき、その引き渡し式を行いました。10月、あらためてJRCとは何かを知ることから始めました。朝礼時に、荒川区で長年JRC活動に関わってきた西村智子先生に概要を紹介いただき、その後、各学級でJRC紹介動画「ハートラちゃんといっしょ!」を視聴しました。(日本赤十字社東京支部HPから視聴できます)



そして生徒会長から11月7日の朝礼で紹介と呼びかけをした上で、11月8日から11日までの登校時、「ルワンダ子ども支援基金」に取り組み、総額8,796円が集まりました。ご協力、ありがとうございました。



JRCには3つの態度目標があります。それは、「気づき」「考え」「実行する」です。私たちが生きるこの社会には様々な課題があります。それらの課題に「気づき」、ただ傍観するのではなく「考え」て、自分たちで出来ることをまずやってみる・実際に行動する＝「実行する」ことが、これからますます求められるのではないのでしょうか。四中生のみなさんには、このようなJRCの身近な取り組みを通じて、そうした姿勢を持ってくれることを期待しています。